



はぐみ ~hug me~



陽ざしはまだ夏の名残もありますが、日の長さも短くなってきてとことなく季節の移り変わりを感じるころになってきました。

今月号は特に乳児期にかかりやすい「麻疹(はしか)」の症状や対処方法などについてご紹介します。

麻疹(はしか)の症状や経過について

- 1 初期(カタル期): 38℃以上の高熱、咳、鼻水、目の充血、目やに、倦怠感が 3~4 日程度続く。風邪との区別がしにくい。
- 2 発疹期: 二峰性発熱により 40℃近い高熱が出て、耳の後ろや顔から全身へ赤い発疹が広がる。口の中に白い斑点(コプリック斑)が出る。
- 3 回復期: 発疹出現から 3~4 日程度で解熱し、発疹は色素沈着を残して徐々に消失する。



治療方法や自宅ケアについて



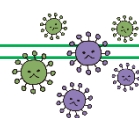
麻疹には特効薬となる抗ウィルス薬がないため、治療方法については対症療法になります。

- 1、解熱剤を使用する
- 2、水分補給と栄養補給をする
- 3、抗生物質の使用(細菌感染を合併した場合)
- 4、ビタミン A の投与(処方された場合)
- 5、安静と休養(静かで落ち着いた環境でゆっくり休ませる)
- 6、室内環境を整える(咳予防のため湿度を 50~60%に保つ)
- 7、身体の清潔の保持

※麻疹は一度かかると強い免疫(終生免疫)がつき、かかりにくくなります。ただし、免疫力を大きく低下させるため、回復期でも肺炎や中耳炎などの感染症を合併することがあり、しばらく注意が必要です。

麻疹の合併症

- 1、肺炎 麻疹の合併症として頻繁に見られます。
- 2、中耳炎 免疫系の影響で中耳の組織に炎症が起こりやすくなります。
- 3、脳炎 命に関わる、あるいは重い後遺症を残す可能性があります。
- 4、亜急性硬化性全脳炎 感染してから 7~10 年という長い期間が経過した後に脳の機能が徐々に失われていく進行性の病気です。



予防や感染対策

麻疹は空気感染・飛沫感染・接触感染します。非常に強力な複数の感染経路を持つので完全に防ぐことは困難です。ワクチン接種や日々の感染対策を行いましょう。

《利用登録受付中》

ご利用には、事前の登録が必要です！



『子どもが急な発熱、でも仕事は休めない…』
急な利用に備え、事前に登録して頂くことをお勧めします。

※登録は、事前に電話予約のうえお越しください。

※必要書類は昭島市のホームページ、または昭島市役所にございます。

月~金曜日 10:00~18:00 (祝日、夏期休暇、年末年始を除く)

☎ 042-519-7868 (担当: 澤田)

はぐみからのおねがい…

はぐみの入室は面談時・送迎時ともに保護者1名でお願いします。また、感染症拡大防止策で手指の消毒・検温のご協力をお願いいたします。

